



第5回

情報活用授業

コンクール



応募要項

- 趣 旨** 学習指導要領に「学校図書館を計画的に活用し授業改善に生かす」と明記されているように、学校図書館は教育のインフラとして、児童生徒の学習活動を支え、情報活用能力と読む力を育みます。児童生徒は、印刷やデジタル等の多様な資料や ICT を活用して、情報活用のプロセスを経験し、情報活用能力を身に付けます。そこで、情報活用の実践を広げるために、「情報活用授業コンクール」を実施します。
- 主 催** 公益社団法人全国学校図書館協議会
- 協 賛** キハラ株式会社
- 後 援** 文部科学省 一般社団法人日本教育情報化振興会
一般社団法人日本新聞協会 公益財団法人文字・活字文化推進機構
- 応募資格** 国公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、義務教育学校、中等教育学校に勤務する教職員（教員、司書教諭、学校司書等）。指導に携わったものが複数の場合は、代表者が全員の了解をとり、携わった全員の氏名と職名を列記して応募してください。
- 区 分** 小学校の部、中学校の部、高等学校の部、特別支援学校の部。
義務教育学校、中等教育学校に勤務する応募者の場合は、原則として実践対象の学年によって上記の部に振り分けます。
- 対象とする実践**
過去3年間以内の学習活動の実践。教科・領域は、単一・複数・総合的な学習の時間・教科横断的なもの、特別活動などいずれでも結構です。
* 1実践につき1件の応募とします。複数の実践を応募する場合は、それぞれについて応募書類A～Dを提出してください。
* 応募数の制限はありません。
- 審 査** 全国学校図書館協議会が委嘱する「情報活用授業コンクール」選考委員会が審査を行います。
- 評価の観点** ①学習のねらい、指導計画が適切であるか
②学習の展開に即した資料・情報の活用であったか
③成果・課題
- 応募書類** A. 応募票 (1)(2)
B. 実践報告書 <8枚以内。ページ番号を明記>
C. 使用した資料・情報のリスト
D. 実践を説明する資料（ワークシートや写真等）を20点まで。

* A・B・Cはまとめて左肩でホチキス留めし、DはA4のクリアファイル（またはクリアブック）にまとめてください。

* 上記のようにA～Dをまとめたものを、各1部提出してください。

* Cは、学校図書館の蔵書全てを対象とした場合など、リスト化できない場合は、理由を明記してください。

* Dに関しては、コピー可。個人情報が含まれる場合は、該当箇所を消してご応募いただくか、承諾を取ってからご応募ください。

* 応募書類は返却しません。

11. 応募方法 **【Web 送付の場合】** 全国 SLA ウェブサイトの専用フォームより応募書類をお送りください。
【郵送の場合】 封筒の表に「情報活用授業コンクール応募」と朱書きして、下記の宛先に送付してください。
〒113-0034 東京都文京区湯島 3-17-1 湯島大同ビル
(公社) 全国学校図書館協議会 情報活用授業コンクール係
12. 応募期間 2025年2月1日～4月5日（当日消印有効）
13. 発表 決定次第、機関誌『学校図書館』、『学校図書館速報版』、全国 SLA ウェブサイト、同メールマガジンにて受賞者、受賞実践名等を発表します。
優秀実践は、機関誌『学校図書館』に記事として掲載します。
14. 表彰 ●優秀賞：各部合せて上位10点程度を表彰します。
受賞者には、賞状と副賞を学校宛に郵送します。
●キハラ賞：優秀賞のうち、特に優れた実践に対し贈呈します。
●情報活用推進校：優秀な実践を多数応募された学校を表彰します。
受賞校には、賞状と副賞を学校宛に郵送します。
●奨励賞：上記以外に、今後の活動が期待される実践を表彰します。
受賞者には、賞状を学校宛に郵送します。
※各賞は、審査の結果、対象者がいない場合もあります。
2025年8月（予定）に、優秀賞・キハラ賞の代表、情報活用推進校の代表を招いて、東京都内で表彰式を行います。
15. その他 応募票、実践報告書等、応募に関わる書類に記入された個人情報は、情報活用授業コンクール事業のほか、次の目的のために使用することがあります。
①当会の発行する機関誌への原稿執筆依頼
②当会の主催する研究会・研修会等の発表・講義依頼及び募集要項等の送付
応募に関する情報および実践内容は、当会の研究活動に使用することがあります。使用する場合は事前に連絡いたします。
16. 問合せ先 (公社) 全国学校図書館協議会 研究調査部
〒113-0034 東京都文京区湯島 3-17-1 湯島大同ビル
TEL：03-6284-3722（代）、FAX:03-6284-3720 e-mail:kenkyu@j-sla.or.jp